



国際会長ニュース

愛と尊厳で世界を癒そう



国際会長 キム・サンチェ

2021年 12月号

キム国際会長のメッセージ

2 ページ

- ・季節の挨拶
- ・2022年11月に台湾・台北で開催される100周年記念式典の案内



IHQ ニュース 12月 内容

3 ページ

- ・会員数の増加
- ・創設者の日 - 12月8日
- ・1951年の創立者の言葉
- ・2022年へのIHQの挨拶



12月の強調月間テーマ: キリスト教強調(CE)

4 ページ

クリスマスにキャンドルを灯そう
カール・ハーツ・ジェンセン、
キリスト教強調国際事業主任



12月の強調月間テーマ:YMIの歴史

5 ページ

アーカイブの背景と、より多くの
情報募集
50年以上所属しているクラブ
メンバーの詳細についてのお願ひ
デビー・レッドモンド、
YMI ヒストリアン国際事業主任



カナダ/カリブ海諸国地域(CAC)

6 ページ

地域会長の紹介と、地域の活動
と進捗状況について
ブライアン・ミニエリー
(カナダ/カリブ海諸国地域会長)



カメルーンでのプロジェクトを推進

7 ページ

- ・ニュービジョンバメンダ・
- ワイズメンズクラブの活動紹介
- バメンダ、カメルーン



「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」



キム国際会長のメッセージ



新年まで、あと1ヶ月、12月のご挨拶です。皆さんの2021年は、いかがでしたか。

2021年を締めくくるにあたり、私たちは、悔しさと興奮をもって新年を迎えます。昨年の今頃に私たちを襲った恐怖や戸惑いは、おさまったものの多くの不安を抱えたまま、今年の12月を迎えることとなります。

一方で、12月は、クリスマスや休暇に関連する特別な月でもあります。また、これまでの11ヶ月を振り返り、始めたことを終わらせ、来るべき年に備える月でもあります。

この半年間の報告書は、あまり明るいものではありませんでした。影響の強さは、区や地域によって異なりますが、8つの地域すべてで活動が制限された1年でした。社会経済的な危機は、打撃となり、健康問題は、相変わらず社会的なイベントを妨げる不安材料となっています。しかし、活動していないクラブを活性化させ、新しい土地でワイズ運動を拡大するために尽力した皆さんに感謝します。また、困難な時期にもかかわらず、温かい心を伝えるために手を差し伸べることをやめなかった、惜しみなく人々に与えた方々にも感謝します。

個人的には、数週間後にカンボジアを訪問し、カンボジアの保健当局とYMI医師団との協力関係を進める予定です。また、カンボジア政府とのコミュニケーションの進捗状況を皆さんと共有する機会もあると思います。



すでにご存じかもしれませんが、来年はさまざまな国際イベントが予定されています。11月に台湾の台北で開催される100周年記念式典は、親睦と祝賀のエキサイティングな集まりになるでしょう。それと同時に、新しい技術、バーチャル会議やハイブリッド会議なども引き続き利用していくことになると思います。

たとえ新型コロナウイルスの第3波、第4波が予測通りに到来したとしても、私たちは準備と訓練ができていると言えるでしょう。

オンラインでもオフラインでも、大切な人や友人と温かく穏やかな時間を過ごしてください。

はい、わかっています。直接会って話をするのに代わるものではありません。どうか暖かく、健康でいてください。

一人一人にハグします。

2021-2022 国際会長
キム・サンチェ

IHQ からのニュース - 2021 年 12 月

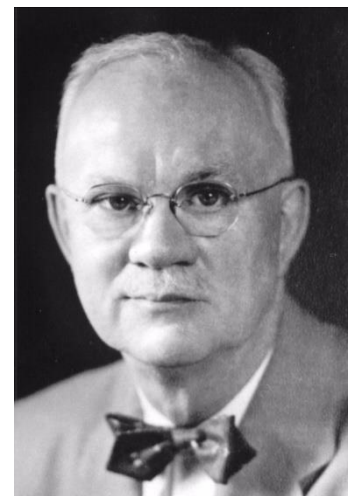
お祝いと贈り物の季節を迎え、IHQ から暖かいご挨拶を申し上げます。2021 年は、私たちに多くの教訓を与え、一体感の価値と力を示してくれた年でした。私たちは、仲間として多くの困難を乗り越え、変化をもたらしてきました。決意と信念を持って、私たちは、活気と目的意識のある組織であり続けます。



今年も終わりに近づいてきましたが、今期に行われたメンバーシップの強化について、ここで評価したいと思います。アジア太平洋と韓国両地域、そして南東アジア、インド中部、中東、韓国ブイルギョン、韓国チョンブク、韓国チェジュ、韓国ソウル、ラテンアメリカ、ハワイ、アメリカ中部、太平洋岸北西部の各区は、前期に比べて会費支払い済み会員数が増加しました。これまでにアフリカ、インド、韓国、ヨーロッパ、米国で 34 の新クラブが設立されており、100 日間会員増強キャンペーンにご協力いただいたリーダーの皆様には感謝いたします。

12 月 8 日の創立記念日をお忘れなく。ポール・ウィリアム・アレキサンダーの誕生日は、特別なイベントやセレモニーを開催する絶好の機会です。メンバーであることの意味を再認識してください。

「ワイズマンであるという事は、信仰ではなく、行動に根差すものである。ワイズマンの特徴であると我々が主張する無私の奉仕の美德とは、同胞に対する愛の模範である。」
ポール・ウィリアム・アレキサンダー、1951。



私たちの運動と創立の理念を称えるための特別な方法を見つけられますか。ぜひお聞かせください。また、[PWA 遺産基金](#)へのご寄付もご検討ください。

今年のクリスマスが、ワイズメンの精神に火をつけ、特に弱者、病人、失業者、パンデミックの経済的影響による苦難を経験している人々に対して、より寛大で、支援的で、役に立つものとなりますように。私たちが彼らのためのクリスマスとなり、与えることの喜びを体験できますように。

この祝福された日々の中で、あなたの心が喜びと平安で満たされますように。2022 年が幸せで健康な年になるよう、共に前を向いていきましょう。

IHQ は 2021 年 12 月 23 日から休業し、2022 年 1 月 3 日から再開します。

国際書記長
ジョース・ヴァルギース

12月の強調月間 - キリスト教強調(CE)

ここにある写真は、私が所属するヴィジル・トレカンテンというクラブで、去年のクリスマスの飾りを作った時のものです。

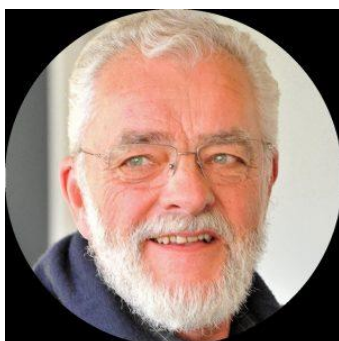
私たちは、手作りのクリスマス飾りを町や近所で売って、慈善活動や社会活動のための資金を集めたり、組織された団体や運動に参加している子どもたちや若者たちを支援したりしています。デコレーションを作ることは、クラブメンバーとしての活動と連帯感を必要とします。私たちは、非常に緊密に協力し合いながら、一つ一つのデコレーションに決められた作業をこなしていきます。あなたはこれをやって、あなたはあれをやって、私はこれをやるので、そうしてください。ある人は、最初の工程から参加し、後の工程から参加する人もいます。1つのデコレーションに対して、いくつかの持ち場が必要になります。一緒に作業をして、購入者のところに飾りを持って回れたときは嬉しいです。



家の中などでクリスマスの飾り付けをするときは、キャンドルを灯したいと思います。

すべてが始まったとき、神は言った。**光あれ。そして、光があった。**人生は神の言葉の中の光から始まりました。そして、キリストにある新しい命は、聖ヨハネの福音書に書かれているように、**地上におけるキリストの光から始まったのです。光は、暗闇の中で輝き、暗闇は、それに打ち勝っていません。**イエスは、後に言葉を与えたとき、弟子たちに言いました。**あなたがたは、世の光です。丘の上の都市は、隠すことができない。人々は、ランプに火をつけても、それをかごの下に置くことはしません。むしろ、それを台の上に置いて、家の中のすべての人に光を与えるのです。同じように、あなたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父をあがめるようにしましょう。**

イエス・キリストの教えは、私たちの世界的な運動において、基本的な価値観として用いられています。これは、私たちが何をすべきか、また、他の人のために奉仕をするという私たちのあり方を教えてくれる、キリスト教の強調事項です。



私は、将来に希望を持ち、一緒に新しい人生を歩んでいきたいと思います。2022年の新年には、ワイズマンとしての100年を祝うことができるよう、皆様にメリークリスマスと神の祝福をお祈りします。クリスマスには、キャンドルを灯し、2022年の新年には、ワイズメンのためにキャンドルを灯そうではありませんか。

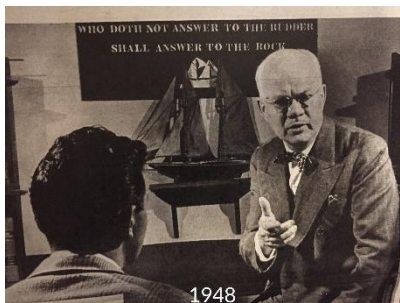
メリークリスマス!

カール・ハーツ・ジェンセン、キリスト教強調国際事業主任

12月の強調月間 - YMIの歴史

100年の歴史を持つこの組織の重要性を後世の人々が、学び、理解できるよう、時間をかけて遺産を保存していきましょう。12月は、YMIの歴史の中で非常に重要な時期であり、1888年12月8日の創立者ポール・ウィリアム・アレキサンダーの誕生日を祝うと同時に、1922年12月12日にトレド・ワイズメンという名前でチャーターされた最初のクラブを祝う日でもあります。実際、トレドYMCAは、1905年12月5日に設立されました。(ワイズメンクラブがスタートした建物です)。

私の名前は、デビー・レッドモンドで、アメリカのミズーリ州セントルイスに住んでいます。私は、YMCAの退職職員である一方で、YMIのヒストリアンでもあり、2016年から現職に就いています。私の情熱は、歴史を研究することです。このポジションは、私が心から楽しんでいるものです。ここ数年は、アーカイブ(記録保管庫)に追加できる情報を見つけることに専念してきました。



国際協会の雑誌やその他の出版物に私が提供した記事や写真もありました。私は、区理事、地域会長、地域ヒストリアンに、アーカイブに保存するための情報や歴史、そして全てのワイズメンの物語を伝えるための情報を求めました。初期の部分だけではなく、クラブ内での私たち自身の遺産や、私たちが提供し続けているサービスについて、私たちの完全な歴史を保存することが重要なのです。地域の歴史についてのコミュニケーションは困難でした。私たちは、米国ミネソタ州ミネアポリスにあるアーカイブ

に保存されていない情報を取り込むことを期待して、すべての地域を含む歴史のデジタルストレージ(電子保管庫)を導入しようとしています。



ポール・ウィリアム・アレキサンダーの遺産の一部として、私たちは、創設者とその家族のために墓石を提供し、オハイオ州トレドにある公園を判事にちなんで命名しました。また、国際的なアーカイブのデジタル化や、スイス・ジュネーブにある本部の新しいオフィスに向けた寄附金活動も続けています。



2022年11月に台湾の台北で開催される100周年記念式典に先立ち、各クラブ、各区、各地域でお祝いしましょう。私たちの時代と奉仕について、語るべきことがたくさんあります。私が、今探しているのは、50年以上会員である方々です。彼らをゴールデンメンバーと呼びましょう。彼らの名前と情報が、歴史に記録されるのは、素晴らしいことだと思います。特定の歴史について質問したい方、歴史を共有したい方は、お気軽に moscholar@gmail.com までご連絡ください。



デビー・レッドモンド、YMIヒストリアン国際事業主任

カナダ/カリブ海諸国地域(CAC)

私は、妻のデビーと一緒に、子供たちを育てたオーウェンサウンドに 35 年前から住んでいます。オーウェンサウンドは、世界最大の淡水湖である五大湖の一部であるジョージアン湾に面しています。私たち家族は、この地域の湖で、カヌーやカヤックに乗って、何日も過ごしてきました。私の YMCA でのキャリアは 5 歳の時に始まり、その後、リーダー団を通じて、最初はキャンパーになり、その後、同じ湖に浮かぶ島でキャンプ・カウンセラーになりました。

オーウェンサウンドのクラブとの出会いは、2004 年に YMCA のモンロー・マーフィーと話したときでした。彼が持っていた写真には、ビーチにいる大勢の子供たちと背景にある建物が写っていました。それは、少し前にスリランカで起きた津波で流されてしまった YMCA の建物の代わりに、「タイムオブファスト」(TOF)によって建てられた YMCA の建物であることがわかりました。このイメージと目的に惹かれて、私は、ワイズダムに参加しました。

その後、私は、「ピース・アクション」という区のプログラムに参加し、シミュレーションゲームを通して若者に平和的になる方法を教えました。その後、TOF の助成金を得て、「Light Up Costa Rica」プロジェクトの立ち上げを支援しました。この補助金によって、広大な先住民族保護区で地元の若者の能力を生かしたプロジェクトを立ち上げることができました。彼らは、約 1,000 個のマイクロソーラーシステムを自家発電の家に設置しました。このプロジェクトは、TOF の支援がなければ実現できませんでした。他の場所では「物」のためにお金を提供しますが、TOF だけは人々と彼らの未来に投資しました。



Working to "Light up Costa Rica"

一方、カナダに戻った私は、区理事を務めていました。人々の達成を支援することが私の原動力であり、それがクラブメンバーになった理由です。新型コロナウイルスによって、多くのクラブが活動を停止しました。CAC では、クラブメンバーが、元々参加していたアイデアに再び参加してもらうことを目指しています。しかし、活動を停止したクラブは、私たちの継続的な課題です。カナダは巨大な国で、人口も分散しています。これが、クラブ内やクラブ間の関係を維持する上での障害となっています。ジャマイカは、カナダよりもクラブのメンバーがとても若いからかもしれないので話が違ってきます。若いということには、メリットがあり、特にエネルギーがあります。私たちは、革新的な活動を共有できるエキサイティングな話をカリブ海諸国に求めています。私たちは、100 日間会員増強キャンペーンの目標を達成し、バンクーバー、エドモントン、オンタリオに新クラブができることを期待しています。私たちは、これらのチャーターイベントの成功を祝い、新クラブの発展を応援します。



それまでの間、カリブ海は興奮を与えてくれます。

<https://www.facebook.com/ysmenmandeville/>にアクセスして、熱意が生み出すものを見てみてください。今後数ヶ月のうちに、これをエリア内に広めていきたいと考えています。

ブライアン・ミニエリー カナダ/カリブ海諸国地域会長

カメルーンでのプロジェクトを支援

国際会長ニュース 10 月号では、ニュービジョンバメンダ・ワイズメンズクラブが、恵まれない子どもたちの教育を支援する活動を紹介しました。同クラブは、また、若い女性たちがより多くの食料を育てられるよう、生活環境の改善にも取り組んでいます。

ラコロンベドウアラ・ワイズメンズクラブとムビアメニュービジョン多目的農業開発センターと協力して、若い女性が、食料を栽培できるように、灌漑設備、実践的なトレーニング、野菜の種、サポートを提供しています。女性は、開発途上国の食料の半分以上を生産しているにもかかわらず、土地の所有率は、2%以下で、種や道具、知識などの支援をほとんど受けていません。私たちは、戦争の影響を受けた地域や国内避難民を受け入れている地域など、カメルーンで最も貧しい地域で行われている若い女性の園芸活動に参加しています。これらの活動は、YMI タイムオブファストプログラムの資金援助を受けています。



私たちは、飲料水の不足や子どもたちの学習施設の不足など、緊急に解決しなければならない多くの課題を発見しました。ニュービジョンバメンダ・ワイズメンズクラブは、ムビアメニュービジョン多目的農業開発センターと協力して、キミ村で子どもたちの教育の権利を促進するための活動を行っていますが、まだまだ多くのことが必要ですので、これからも努力していきます。

私たちの活動については、以下のフェイスブックのページをご覧ください。

[ニュービジョンバメンダ・ワイズメンズクラブ](#)

[ムビアメニュービジョン多目的農業開発センター](#)

タタ・ウイルバ・ウスマイラ ニュービジョンバメンダ・ワイズメンズクラブ会長

